

# 企 画 部 企 画 課

## 1 総合計画の策定

平成 23 年に策定した「第 2 次米子市総合計画（米子いきいきプラン 2011）」の基本計画期間が終了することに伴い、今後の中長期にわたる総合的・計画的な市政運営の指針として、新たな総合計画の策定作業に着手した。

(1) 策定期間 平成 26 年度から平成 27 年度の 2 ヶ年間

(2) 名 称 第 3 次米子市総合計画（仮称）

(3) 業務委託

業務名 米子市総合計画策定支援業務

委託先 株式会社シーズ総合政策研究所

委託期間 平成 26 年 7 月 3 日～10 月 31 日

委託金額 1,479,600 円

### ア 市民まちづくりワークショップ「よなご未来カフェ」

全回共通テーマ「10 年後の米子市が、住みやすく、元気なまちであるために、必要なことは？」

第 1 回 平成 26 年 8 月 17 日 参加者数 29 名

・住みなれた地域で幸せに暮らし続けられるまち（健康・保健・医療、福祉、防災、市民自治活動）

第 2 回 平成 26 年 8 月 31 日 参加者数 29 名

・喜びと誇りを持って豊かな人生を送ることができるまち（教育、文化、スポーツ、人権）

第 3 回 平成 26 年 9 月 7 日 参加者数 18 名

・住む人にやさしく、地球にもやさしい、ふるさとであり続けられるまち（景観・緑地、まちの景観、水質保全・水環境、循環型社会・リサイクル、自然環境・生態系）

第 4 回 平成 26 年 9 月 28 日 参加者数 21 名

・活力を生み、人が集い、新たな魅力を創出しながら未来へと向かうまち（農林水産業、商業・にぎわい、工業・雇用・企業誘致、観光・交通体系・交流連携）

### イ 次世代（中学生及び高校生）ワークショップ「よなご未来カフェ（次世代版）」

テーマ「大人になった時、米子市がどんなまちになったら良いと思いますか」

平成 26 年 9 月 28 日 参加者数 24 名（中学生 19 名、高校生 5 名）

### ウ よなご未来カフェ市民まちづくり提言フォーラム

平成 26 年 10 月 12 日 参加者数 54 名

・スペシャル・トーク（講演）「元気な地方都市ではじまっている次世代型まちづくりとは？」

講師 指出一正氏（「月刊ソトコト」編集長）

・よなご未来カフェの活動報告

・まちづくりトークセッション「米子ではじまる 次世代型まちづくり」

### エ まちづくり中学生アンケート

(ア) 調査目的

平成 28 年度からスタートする新たな総合計画を策定するにあたり、次世代を担う中学生の目を通してみた米子市の現状や課題、ふるさとに対する意識、将来の定住や職業への意向、まちづくりに対する意見やアイデアを把握することを目的として実施した。

(イ) 調査対象・調査方法

調査対象 米子市内の13中学校に通学する中学3年生（うち1校は中学2年生）  
調査方法 学校内でアンケート調査票を配付し、回収した。  
調査時期 平成26年9月

(ウ) 回収結果

配布数 1,496  
回収数 1,391  
回収率 93.0%

(エ) 質問項目

問1 あなたについて（性別、学校名等）  
問2 米子市について（暮らしやすさ、魅力、満足度・重要度等）  
問3 将来のことについて  
問4 あなたがもし市長だったら

(4) 総合計画審議会

審議委員 20人（うち公募委員5名）

第1回審議会 平成26年11月18日

- ・会長・副会長の選出
- ・総合計画の策定について諮問
- ・策定方針、今後のスケジュール等について

第2回審議会 平成27年1月30日

- ・基本構想（案）について

第3回審議会 平成27年2月17日

- ・基本構想（案）について

2 総合計画の進行管理

平成25年度分 第2次米子市総合計画の数値目標進捗状況調査の実施

(1) 調査の目的

平成23年に策定した「第2次米子市総合計画（米子いきいきプラン2011）」の進捗状況を把握するため、指標として掲げた数値目標の平成25年度末（計画3年目）における進捗状況調査を実施した。

(2) 調査対象

第2次米子市総合計画の数値目標59項目のうち、「まちづくりに関する市民アンケートの結果」を数値目標としている5項目を除外した54項目を調査対象とした。

また、米子市が施策や事業を進めていくうえでより適切な数値目標とするため、1項目について指標と目標値の変更を行なった。

【まちづくりの目標別数値目標調査対象項目数】

まちづくりの目標 等	数値目標	調査対象項目
1 『ひと』がいきいき 生涯健やかで安全・安心に暮らせるまちづくり	20	18
2 『こころ』がいきいき 人を大切にし、豊かな心と文化を育むまちづくり	6	3
3 『ふるさと』がいきいき 人と自然が調和した快適で住みよいまちづくり	6	6

まちづくりの目標 等	数値目標	調査対象項目
4 『あした』がいきいき 活力とにぎわいを生み出す元気なまちづくり	20	20
5 『市役所』がいきいき 市民のために挑戦する市役所づくり	7	7
合 計	59	54

(3) 目標達成度

目標達成度は、その状況から、つぎの「A～D」の4つの区分に分類した。

A＝目標値を達成している

B＝概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込みである

C＝進捗状況が停滞しており、目標を達成するためには取り組みを強化していく必要がある

D＝基準値（平成21年度または平成22年度の現状値）を下回っている

(4) 調査結果

計画3年目（平成25年度末実績）の数値目標の進捗状況は、22項目（40.7%）が「目標値を達成」した。また、「概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込み」が18項目（33.3%）あり、これらを合わせると7割を上回る40項目（74.1%）が目標達成・目標達成見込みとなった。

その一方で、「進捗状況が停滞しており、取り組みを強化する必要がある」ものが7項目（13.0%）、「基準値を下回った」ものが7項目（13.0%）あった。

まちづくりの目標別に見ると、「5 『市役所』がいきいき」が5項目（71.4%）で目標達成率50%を上回った。

まちづくりの目標	項目数	A 目標達成	B 概ね達成	C 進捗停滞	D 基準値以下
1 『ひと』がいきいき	18	8 (44.4%)	3 (16.7%)	4 (22.2%)	3 (16.7%)
2 『こころ』がいきいき	3	0 (0.0%)	1 (33.3%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)
3 『ふるさと』がいきいき	6	2 (33.3%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)
4 『あした』がいきいき	20	7 (35.0%)	10 (50.0%)	0 (0.0%)	3 (15.0%)
5 『市役所』がいきいき	7	5 (71.4%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)
合 計	54	22 (40.7%)	18 (33.3%)	7 (13.0%)	7 (13.0%)

（注）表示単位未満を四捨五入しているため、章ごとの割合の合計が100%にならない場合がある。

3 行政評価の実施

(1) 事務事業評価

翌年度に行なう予定の事務事業のうち、全ての新規事業（継続事業のうち、制度の見直しなど実施内容の変更に伴い、大幅な事業費の増が見込まれる事務事業を含む）114本と、継続事業（内部管理事務や法定受託事務などを除く）172本について評価を実施した。

評価は、各担当課による「1次評価」と、副市長を委員長とし各部長等で構成する事務事業評価委員会による「2次評価」の2段階で実施し、継続事務事業のあり方や新規事業の実施などについて検討を行なった。

2次評価の結果は、次のとおりである。

ア 「継続事務事業における今後の方向性」の判断結果

現状のまま継続	見直しして継続	休止・廃止
168本 (97.7%)	3本 (1.7%)	1本 (0.6%)

イ 「新規事務事業における実施等の区分」の判断結果

実施	見直して実施	実施は適当ではない
34本 (56.7%)	14本 (23.3%)	12本 (20.0%)

(2) 施策評価

第2次米子総合計画（米子いきいきプラン 2011）のまちづくりの基本方向 32項目を施策としてとらえ、施策評価を実施し、平成26年11月に「第2次米子市総合計画（米子いきいきプラン 2011）実施状況報告」としてとりまとめ、公表した。

4 中海・宍道湖・大山圏域市長会関係

(1) 総会、副市長会及び幹事会の開催

ア 総会の開催

第1回 平成26年7月7日 ホテル白鳥（松江市）

- ・平成25年度決算報告
- ・平成26年度事業の実施状況について
- ・インド視察について

第2回 平成27年3月30日 米子コンベンションセンター

- ・平成26年度事業報告及び決算見込報告
- ・平成27年度事業計画及び予算案

イ 幹事会の開催

第1回 平成26年7月2日 松江市役所

- ・平成25年度決算報告
- ・平成26年度事業の実施状況について
- ・山陰インド協会との合同勉強会について

第2回 平成27年3月18日 島根県市町村振興センター

- ・第2回総会の議題について

(2) 主な事業

ア インド経済視察

平成26年11月4日～10日

中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、山陰インド協会、中海・宍道湖・大山圏域市長会の三団体合同で、インド経済視察を実施した。

訪問先：在インド日本大使館、JICA インド事務所、ケララ州政府、コチ市役所他

イ 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会等との意見交換会

第1回 平成26年7月7日 ホテル白鳥（松江市）

第2回 平成27年2月17日 ホテル白鳥（松江市）

ウ インバウンド対策事業

(ア) 台湾・韓国において圏域をPRするため、台北市春節建国花市へのブース出展、韓国メディアの招聘等を実施した。

(イ) クルーズ船寄港時のおもてなし事業として、お出迎えと、ノベルティ・パンフレットの作成配布、観光案内及び物販・飲食ブースの運営等を行なった。

エ プロスポーツチームを通じた交流

中海圏域の一体感の醸成と市長会のPRを目的に、山陰に本拠地を置くガイナレ鳥取のJ3公式戦において、キッズサッカースクール、市長会PR等を実施した。

オ 海外商談会支援事業

圏域内企業が海外で開催される商談会等に参加するための費用に対して補助を行なった。

カ 海外での圏域物産展の開催

ウラジオストク市において、山陰（鳥取・島根）ブランド展 in ロシアを開催した。

## 5 鳥取県西部地域振興協議会(事務局)

### (1) 協議会・幹事会・連絡会の開催

#### ア 協議会の開催

平成 26 年 5 月 30 日 米子市役所淀江支所

- ・平成 25 年度事業報告及び決算報告について
- ・平成 26 年度事業計画及び予算案について
- ・鳥取県西部地域企業立地促進補助金の拡充（改正）について
- ・米子道 4 車線化に係る期成会の設立について

#### イ 幹事会の開催

平成 26 年 5 月 16 日 米子市役所

- ・平成 25 年度事業報告及び決算報告について
- ・平成 26 年度事業計画及び予算案について
- ・鳥取県西部地域企業立地促進補助金の拡充（改正）について
- ・米子道 4 車線化に係る期成会の設立について

#### ウ 連絡会議の開催

第 1 回 平成 26 年 4 月 18 日 米子市役所

- ・平成 25 年度事業報告及び決算報告について
- ・平成 26 年度事業計画及び予算案について
- ・鳥取県西部地域企業立地促進補助金の拡充（改正）について
- ・国・県に対する要望事項について

第 2 回 平成 26 年 5 月 12 日 米子市役所

- ・国・県に対する要望について
- ・米子道 4 車線化の実現方策の検討について

第 3 回 平成 26 年 7 月 2 日 米子市役所

- ・米子道 4 車線化に係る期成会 準備会及び構成等について

第 4 回 平成 26 年 8 月 19 日 米子市役所

- ・企業誘致の連携について

第 5 回 平成 26 年 11 月 6 日 米子市役所

- ・企業誘致の連携について
- ・来年度の取組・予算について

第 6 回 平成 26 年 12 月 25 日 米子市役所

・企業誘致の連携について

エ 米子道 4 車線化に係る期成会 準備会の開催

2 回の準備会を経て、平成 26 年 10 月 9 日に「中国横断自動車道岡山米子線（蒜山 I C～米子 I C 間）4 車線化促進期成同盟会を設立。

第 1 回 平成 26 年 8 月 12 日 米子市役所

・米子道 4 車線化に係る期成会 構成等について

第 2 回 平成 26 年 9 月 18 日 米子市役所

・米子道 4 車線化に係る期成会 設立総会等について

## (2) 要望活動

ア 平成 26 年 7 月 10 日 国土交通省及び県選出国會議員 要望活動

中国横断自動車道岡山米子線（米子 I C～蒜山 I C）の 4 車線化等について  
協議会会長 米子市長、日南町長、境港市副市長、大山町副町長が要望書提出

イ 平成 26 年 7 月 8 日 鳥取県知事 要望活動

中国横断自動車道岡山米子線（米子 I C～蒜山 I C）の 4 車線化等について  
協議会会長 米子市長が要望書提出

ウ 平成 26 年 8 月 8 日 西日本高速道路株式会社中国支社

中国横断自動車道岡山米子線（米子 I C～蒜山 I C）の 4 車線化について  
米子市建設企画課長、企画課長が要望書提出

## (3) 勉強会等の開催

県との地方創生に関する情報交換及び意見交換会

平成 27 年 1 月 20 日 西部総合事務所

## (4) 鳥取県西部地域の発展を促進する事業

企業誘致に関する連携

ア 「第 17 回関西機械要素技術展」への出展（鳥取市、倉吉市と初の共同出展）及び参加

平成 26 年 9 月 23 日～26 日

場所 インテックス大阪

イ 鳥取県西部地域企業立地促進補助金の交付

補助実績 8 件 240 万円

## 6 定住自立圏構想関係

### (1) 定住自立圏形成協定の内容追加及び中海圏域定住自立圏共生ビジョン（第 2 次）の策定

ア 定住自立圏形成協定の内容追加

定住自立圏形成協定に「雇用の促進」及び「定住の促進」を図る項目を追加した。

イ 中海圏域定住自立圏共生ビジョンの更新

従来の中海圏域定住自立圏共生ビジョンが期間を満了することから、平成 30 年度までを期間とし、定住自立圏形成協定に追加された 2 項目（「雇用の促進」及び「定住の推進」）を新たに盛り込み、中海圏域定住自立圏共生ビジョン（第 2 次）として更新した。

(2) 定住自立圏形成協定にもとづき、中海・宍道湖・大山圏域市長会へ参画して連携事業を実施した。

ア 情報発信事業

圏域PRグッズを作成し、各所でのプロモーションに使用した。山陽・四国方面に対しては観光案内番組を制作し、当該地方局での放送を行った。

イ 産業支援事業

(ア) 圏域企業情報のサイト「中海・宍道湖・大山圏域ものづくりnet」の機能強化を行った。

(イ) 中海・宍道湖・大山圏域ものづくり連携事業実行委員会が実施するビジネスマッチング商談会と名刺交換会への支援を行なった。

ウ 環日本海貨客船航路就航支援事業

環日本海定期貨客船の運航支援をする者に対し、鳥取県と連携を図り支援を行なった。

エ 空港利用促進事業

米子空港の冬季空港利用促進事業等を支援した。

オ 自然体験学習事業

圏域の小学生を対象に、中海や宍道湖の自然や水質の環境学習を行なった。

カ 職員人事交流の実施

米子市と安来市、松江市と境港市の間で相互に職員を派遣し人事交流を行なった。

7 鳥取県西部広域行政管理組合

次の事務について、鳥取県西部広域行政管理組合で共同処理を行なった。

(1) 老人福祉施設（うなばら荘）運営管理

(2) 介護、障害認定審査

(3) 病院郡輪番制及び小児救急医療支援事業

(4) 火葬場（桜の苑）運営管理

(5) 不燃物中間処理場（リサイクルプラザ）、灰溶融処理施設（エコスラグセンター）、最終処分場、し尿処理施設（白浜浄化場、米子浄化場）運営管理

(6) 消防本部及び消防署の設置運営

(7) 視聴覚ライブラリーの運営

8 移住定住推進事業

(1) 相談対応業務

企画部企画課内の「米子市移住定住相談窓口」に、8月より新たに専任相談員を配置し、IJUターン希望者の相談に対し、就職、子育て、医療、高齢者サービス、住宅等の紹介等をワンストップサービスで行なった。

また、東京及び大阪で開催された、公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構主催の移住定住相談会に参加し、IJUターン希望者の相談業務を行なった。

(2) お試し住宅の整備・運営業務

市内の空き家3棟を改修し、お試し住宅として平成27年2月にオープンした。

【お試し住宅の利用状況 平成 27 年 2～3 月】

お試し住宅の名称	件数	利用日数
淀江住宅（淀江町淀江）	2	45
駅前住宅（明治町）	2	34
大篠津住宅（大篠津町）	0	0
合 計	4	79

(3) 情報発信業務

市ホームページにて支援施策等を紹介するとともに、移住定住ガイドブック「ほわっとよなご」を作成し、とっとり・おかやま新橋館やふるさと回帰支援センター等への設置、移住定住相談窓口や県外での移住相談会における移住相談者への配布、市ホームページへの掲載を通して、米子市の魅力を発信した。

9 国政・県政に対する要望事項

平成 27 年度国政・県政に対する要望についてとりまとめ、要望活動を行った。

(1) 国政に対する要望事項

北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他 28 件  
公共土木事業関係 直轄皆生海岸侵食対策事業の推進 他 9 件

(2) 県政に対する要望事項

北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他 35 件  
公共土木事業関係 米子岸本線 他 82 件

10 鳥取県市長会関係

鳥取県市長会を通じて、国、県に対し要望活動を行なった。

(1) 国政に対する要望事項

原子力発電所における安全対策等の強化について 他 4 件

(2) 県政に対する要望事項

国民健康保険事業に対する県費助成について 他 5 件

11 婚活サポート事業

中海・宍道湖・大山圏域の構成市町村等で組織する「出会いの場作り事業実行委員会」において、独身男女の出会いのきっかけづくりの場を提供するイベントを 2 回開催した。

(1) 婚活が 10 倍楽しくなる！UN-PAKU meeting 米子会場

開催日 平成 26 年 11 月 24 日  
開催場所 米子コンベンションセンター  
参加人数 男性 61 人 女性 44 人 計 105 人

(2) 婚活が 10 倍楽しくなる！UN-PAKU meeting 松江会場

開催日 平成 26 年 11 月 30 日  
開催場所 松江テルサ（松江市朝日町 478-18）  
参加人数 男性 67 人 女性 38 人 計 105 人



## 1 2 米子市人口減少対策会議

### (1) 対策会議の実施

第 2 回 平成 26 年 5 月 1 日

- ・各課施策・事業、人口動態等に関する情報共有
- ・施策・事業に関する意見交換

第 3 回 平成 26 年 9 月 2 日

- ・各課施策・事業、人口動態等に関する情報共有
- ・施策・事業に関する意見交換

第 4 回 平成 26 年 10 月 28 日

- ・人口減少問題に係る講演及び意見交換

講師：野村證券株式会社 金融公共公益法人部主任研究員 和田理都子氏

第 5 回 平成 26 年 12 月 24 日

- ・地方創生に係る施策等の検討及び意見交換

### (2) 職員研修の実施

平成 26 年 10 月 28 日

人口減少問題に係る講演

講師：野村證券株式会社 金融公共公益法人部主任研究員 和田理都子氏

## 1 3 地方創生に向けた取組み

### (1) 米子市地方創生推進本部の設置

国において平成 26 年 11 月 21 日に地方創生関連法案が可決されたことを受け、本市の総合戦略を策定するにあたり、方針及び施策等を検討する場として、平成 26 年 11 月 27 日庁内に米子市地方創生推進本部を設置した。

### (2) 地方創生先行型事業

国の地方創生先行型交付金を活用して実施する事業として、2 月臨時議会において 12 事業を予算化し、地方創生に向けた具体的な取組を開始した。

## 1 4 新米子市誕生 10 周年記念事業

### (1) 平成 27 年度に実施する記念事業の選考

全庁的にアイデアを募り、庁内の検討委員会において、「市の魅力を広く PR できるものであるか」、「市民であることの一体感を醸成する契機となるものであるか」、「高い費用対効果が期待できるものであるか」などの視点で検討を重ね、総計 15 の事業を決定した。

### (2) 記念誌の作成

新米子市が誕生して 10 周年を迎えるに当たり、これまでの 10 年を振り返ると同時に、市の現状や魅力及び市の将来像である「生活充実都市・米子」について市内外に向けて情報発信することにより、市と市民とが共に市の未来について考え、行動する契機とすることを目的とした記念誌を作成した。

### (3) 記録映像の作成

合併後の 10 年を振り返るとともに、市の魅力を再認識することを目的とする記録映像 (DVD) を作成し、平成 27 年 3 月 31 日に開催した「新米子市誕生 10 周年記念式」において放映した。